

本校ホームページをご覧くださいありがとうございます。

5月に入り真夏並みに暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。

その陽気に誘われるように、草木の緑も深さを増し、「命溢れる」という表現がぴったりの季節となりました。

今回は、避難訓練・宿泊防災訓練についてご紹介いたします。

5月12日(金)に避難訓練・宿泊防災訓練を実施しました。本校は平成26年度に東京都教育委員会より「安全教育推進校」に指定されましたが、その年に作成したプログラムで現在も実施しています。そのため、1日がかりの大々的な行事となっています。

避難訓練は、1時間目の授業時間に地震が発生し、校内で火災が発生したという想定で開始しました。身体防護訓練、避難訓練、教員による119番通報訓練(実際に池袋消防署の担当部署に電話を入れます)、情報伝達訓練、生徒誘導訓練、各クラスの防災支援隊による誘導・点呼・報告訓練等、災害発生時に全校の生徒が安全に避難できるよう訓練を実施しました。全校生徒がグラウンドに集合した後は、初期消火体験、D級ポンプ体験、スタンドパイプの取り扱い訓練、煙ハウス体験、起震車体験を学年毎・クラス毎にローテーションしながら実施しました。特に起震車体験では、揺れが起こると同時に机の下に身を隠す生徒の素早さには驚かされました。小中学校での訓練の成果だと思います。さらに、昼食、5・6時間目の授業を行い、3年生はこの日の夕方から翌13日(土)の朝にかけて宿泊防災訓練を実施しました。本校では、各学年で少なくとも一つの宿泊行事を実施することとしており、そのため宿泊防災訓練は3年生で実施しています。訓練冒頭の校長講話では、防災は日頃の備えと自助の精神が重要であることを話しました。3年生にとっては、2年以上過ごした学び舎ですが、一夜を過ごすことで新たな発見があり、母校に対する理解を深める機会となったようです。13日(土)の朝は全員で後片付けを行い、しっかりした足取りで帰宅しました。一つの取り組みを最後まできちんとやり遂げる姿は、さすが3年生と思わせるものでした。池袋消防署や地域の消防団の皆様にご協力をいただき今年度も充実した避難訓練・宿泊防災訓練を実施することができました。ありがとうございました。

*右図は、消防団員の方から放水指導を受ける様子です。

